一人ひとりが社会の主役！

第31回八雲町青年問題研究集会

2月20日～21日の2日間にかけて、第31回八雲町青年問題研究集会が行われ、様々な職種や20代から60代まで幅広い年齢層の延べ78人が参加しました。

今年度は「１人ひとりが社会の主役～考えよう・語り合おう・踏み出そう～」をテーマに実施し、自分のことや周りのことに目を向け、しっかりと感じ、考えて行くことが必要と「仕事」「まちづくり」「コミュニケーション」「ライフスタイル」に関する各々の思いや考え方を語り合い、交流しました。

まちづくりを中心に話し合った参加者は「八雲町の事を考えることは、未来の自分の居場所を作ることに繋がることを再確認できた」と話し、「これからもまちづくりについて考えていきたい」と決意表明しました。

第65回八雲町民体育大会！

柔道大会・剣道大会

第65回町民体育大会の柔道大会（2月28日）、剣道大会（3月8日）が行われ、小学生から一般の方までの選手が参加し（柔道32人、剣道17人）、日頃の鍛錬の成果を競い合い士気を高めました。

大会当日は保護者を中心に多くの見学者が集まり、試合では選手達の鍛え抜かれた強さとともに相手への礼儀を忘れない姿勢が見られ、見学者より大きな拍手が送られました。

※両団体とも小学１年生から高校３年生までの少年団員を募集しています。詳しくは35ページのスポーツだよりをご覧ください。

冬の産業体験！

日本大学 学生「ホタテの耳つり体験」

日本大学生物資源科学部（神奈川県藤沢市）森林資源学科2年生の伊藤奏子さん、原梨沙子さん、三橋志穂さんが春休みを利用して来町し、2月23日から3月18日の間、東野の漁業、板木宗司さんのもとでホタテの耳つりを体験実習しました。

3人は、昨夏にインターンシップで2週間ほど八雲町に滞在し林業実習を行い「冬の産業も体験したい」とホタテの耳つり作業を体験実習することとなりました。3人は「八雲町は食べ物が美味しいうえ、人の温かさを感じることができ、すっかり好きになりました。今回の経験を卒業研究の論文に活かしたい。また、後輩や周りの人に八雲町を紹介して好きになってもらいたい」と笑顔で話しました。

ご当地酒場「北海道八雲町」が大ヒット！

合掌智宏氏「外食アワード2014受賞」

外食産業の発展と外食の食文化醸成に寄与することを目的に、外食産業記者会により創設し、第11回目となる「外食アワード2014」において、ご当地酒場「北海道八雲町」の経営者である合掌智宏氏（㈱fun function代表取締役社長）が、外食事業者部門で受賞されました。

ご当地酒場「北海道八雲町」など、全国各地の市町村と連携した〝アンテナショップ居酒屋〟が大ヒットし、様々な食材が眠る地方の町に着目、地方自治体と飲食業との新しい結びつきの形を示した結果が今回の受賞に繋がりました。現在、ご当地酒場「北海道八雲町」は、三越前店、浜松町店、日本橋別館の3店舗あり、八雲町のＰＲに大きく寄与しています。